

謹んで新年のお祝いを申し上げます。
皆様、すこやかに新春をお迎えのことと存じます。

寅年の2010年がスタートしました。昨年、民主党政権が誕生し、大きな変革が期待されていますが、未だ景気は改善せず、引き続き大変厳しい社会・経済状況が予想されます。また、環境問題、エネルギー問題や少子化問題等、様々な難題も山積みです。そして、否が応でもグローバル化という大きな流れに呑まれつつあります。
本当に大変な時代になりました。

私は、私たち大人の世代が次の若者達の世代へ、きちんと「健全な日本の社会」を引き継いでいくことが大事なことで思っています。若者が熱き「志(こころざし)」を持って邁進できる社会の継続的維持を図らなければなりません。最近「持続可能性」という言葉が広く使われていますが、これは「エネルギーの利用には限界があり、経済も継続的な右肩上がりを目指すことはできない」時代に来ていることを指摘するものです。また、「自然の浄化能力」にも限界が来ているのです。

どうやら、私たちはあまりにも物質的に豊かになり過ぎたようです。そして、その中でも「格差」(貧富の格差や地域間格差等)が出来上がってきています。

グローバル化という高波を受けながら、日本という国家レベルでの大きな課題の解決を早急に求められていても、直接的に私たちがそのために動くことは難しいと言えます。でも、今、私たちひとり一人が何かをしていかなければ取り返しのつかないことになりそうです。個々の私たちでも、日々の生活のなかで、何かできることから始めてみるしかありません。

その実践のなかで、大切なのは「共生」という考え方だ、と私は思います。ごく自然に、無理なく、普通の優しさをもって、「共に生活する」ことを積み重ねていくことが意義のあることではないでしょうか。あまり欲を掻(か)くのではなく、ほどほどにして、無理なく、周囲の人々や自然に気を配れる社会になればどんなにいいでしょう。

弊社の大きな事業テーマのひとつが「地域活性化」です。様々な地域を訪ねて、つくづく感じるのは、「地域は疲弊していて、このまま行くととんでもないことになる」ということです。同じような表現を前述しましたが、まさに同じことが地域でも起きています。大都市圏(特に東京地区)という「中心」だけが潤い、地域が「周辺」としてどんどん過疎化し疲弊している現状は、日本社会の縮図でもあります。「大都市(中心)があって、地方(周辺)があるのではなく、地方(周辺)があって初めて大都市(中心)が成り立つこと」が忘れられています。物質的な利益を求める風潮が、日本本来の「社会の利益」を維持する仕組みを凌駕(りやう)してしまい、若者達の「こころ」まで、浸食(しんしょく)してきています。

日本の地方では、安全で美味しい農水産物が取れます。豊かな自然が残っています。
地方を大事にする社会が、日本の将来を支えることになるのではないのでしょうか。

サイモンズは今年も「失効ポイント」を寄付することにより、少しでも「共生」の考え方が広がっていくよう、一層努めて参りたいと存じます。顧客(個人)＝加盟店(社会)＝地域(社会)という三者が WIN=WIN=WIN の関係を維持しつつ、持続可能な社会インフラの構築に向けて取組みます。

今年も新しいビジネスモデルを考え、試行錯誤を重ねながら、サイモンズの思いを社会に提示して参りますので、どうぞ皆様方の温かいご愛顧をお願い申し上げます。